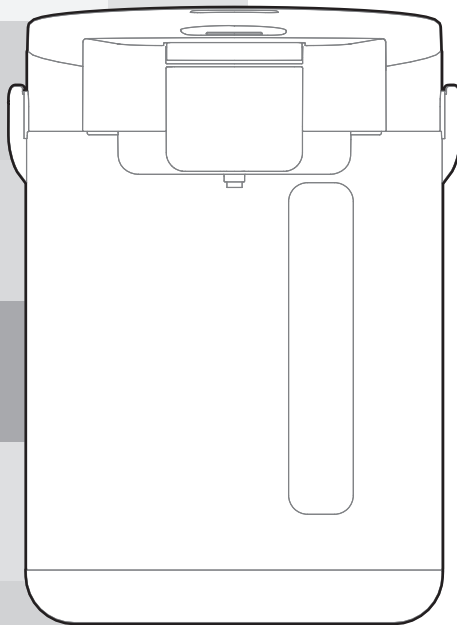


Comfee'

電動お湯ポット

取扱説明書

CKW-50PK07C1
CKW-50PW07C1



安全上のご注意：この製品を安全にかつ長期間お使いいただくために、必ずご使用前に取扱説明書をよくお読みください。

目次

安全上のご注意-----	01
仕様-----	03
製品の概要-----	04
使用説明書-----	06
清掃とお手入れ-----	10
故障かな？と思ったら -----	12

安全上のご注意

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です

⚠ 注意 「軽傷または財産などの損害に結び付く恐れがある内容」です

● お知らせ 【お知らせ】「使用体験に影響を与えるおそれがある内容」です

- ここに示した安全事項の内容及び重要性は、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。次の内容を必ずご理解したうえ、本文をお読み、いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど・けが・感電の恐れがあります。
- 家庭用以外は使用しないでください。

⚠ 警告

⚠ 電源コードは、テーブルへの吊り下げが禁止されており、製品は高温物体(例えば炉具)に接触しない。

⚠ コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差込が緩い時は使用しない。(感電・ショート・発火の原因)

⚠ 濡れた手でプラグをコンセントから抜き差ししない。(感電の原因)

⚠ マイコン電動お湯ポット、電源コード、電源プラグを水や他の液体に浸漬しない。(危険の原因)

⚠ マイコン電動お湯ポット任意の隙間や開口にピン、針金、その他のものを挿入しない。(感電傷害の原因)

⚠ 蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。使用時は蓋を閉めてください、また、動作中では蓋を開けないこと(やけどの恐れ)。

⚠ 改造しない。また修理技術者以外の人とは分解したり修理しない。(火災・感電・けがの原因になるため、修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口へご相談ください)

⚠ 使用時以外は、必ず差込プラグを抜くこと。

⚠ 専用の電源コード以外は使用しない。電源コードは他の機器に転用しない。他仕様の電気製品に使用しない。また当社指定以外の部品は使用しない。

⚠ 定格電流7A以上、定格電圧100Vのコンセントを単独で使用する必要があり他の器具と併用すると異常発熱して、火の原因になります。

安全上のご注意

警告



注水の際は目盛を超えない。お湯が溢れたり、噴出したりして製品から漏れる恐れがあります。また、空焚きはしない。



上蓋を取っ手として持ち上げることはしないでください。



マイコン電動お湯ポットを掃除する前に電源プラグをコンセントから抜くことを確し、本体冷却後に行ってください。



コネクタの上部に液体がこぼれないでください。



誤用による傷害の危険性があります。



使用後の電熱素子の表面は、残留熱の影響を受けているので、手で触れないでください。



水が沸騰している間は、蓋を外してはならない。

注意



安定したところで製品を使用してください。どんな電気製品にも近づいてはいけません。製品が破損したり事故が発生したりするおそれがあります。



本製品はお湯にしか使えず、水以外のもの(例えば、海苔、卵、豆乳、お茶、乳、麺など)を加熱することはできません。製品機能失効の原因になります。



製品を移動する時には、製品の取っ手を使って移動してください。上蓋開閉つまみを引いて持ち上げないで、懷に抱かないでください。



定温機能は選択した保温温度までしかお湯を沸かせず、お湯を沸かすことができない。



マイコン電動お湯ポットの使用寿命を延長させるために、内鍋の沈殿物(カルキ)を定期的に清掃してください。



カルキが深刻であれば、カルキ除去操作を繰り返さなければならない。



長時間使用しない場合は、電源プラグコンセントから引き抜いて、防湿、防塵防虫保護措置を講じてください。



スチールワール及び任意の化学的又は粉状の洗浄剤での洗浄をしないでください。



蒸気がハンドルにかからないように、蓋位置を決めなければならない。

安全上のご注意

● 注意



製品の置かれた場所を定期的に掃除し、油などの汚れを掃除してください。



他電気製品との最適距離を30cm以上にしてください。

仕様

製品モデル	CKW-50PK07C1/CKW-50PW07C1
定格電圧	100V~
定格周波数	50/60Hz
定格出力	1000W
定格容量	5.0L

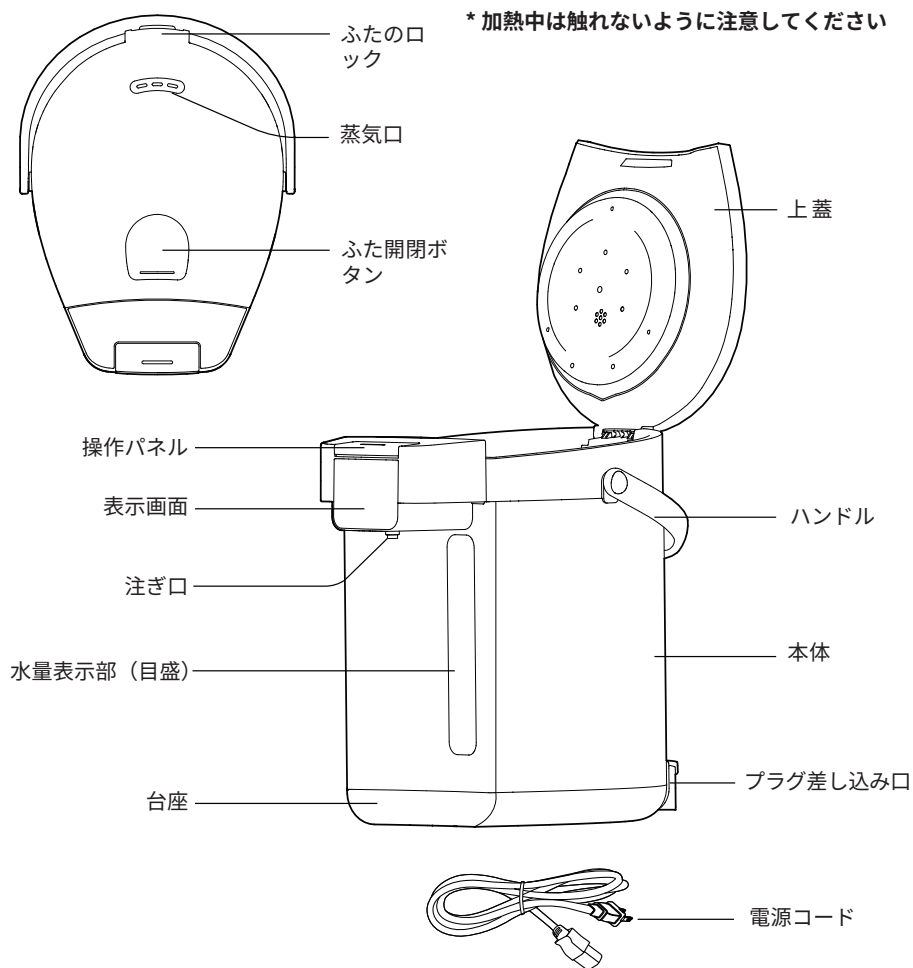
製品の概要

部品名



ヒント

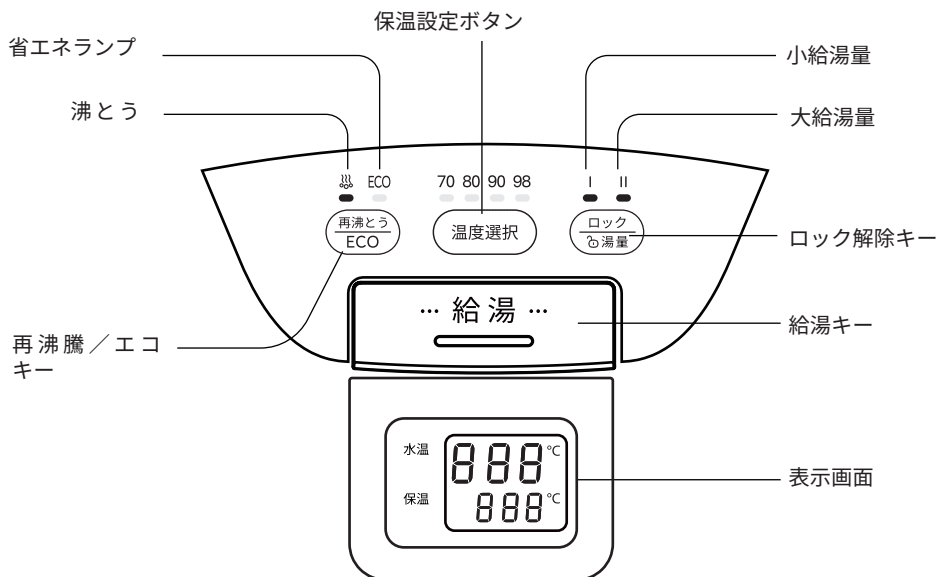
本機を使用する前に、以下の事項をお読みになり、本機の使い方を覚えてください。当社製品は継続的にアップグレードされているため、実際の製品と下の画像が異なる場合は、実物が優先されます。本製品は卓上に置いて使用する機器であり、埋め込み型機器として使用することはできません。



コントロールパネル



本製品の外観は機種により異なるため、以下の画像はイメージです。梱包内の実際の製品をご確認ください。



ヒント

を初めて使用する際、少量の水滴が付着する場合があります。これは工場出荷時の性能テストに残った水分であり、正常な現象です。

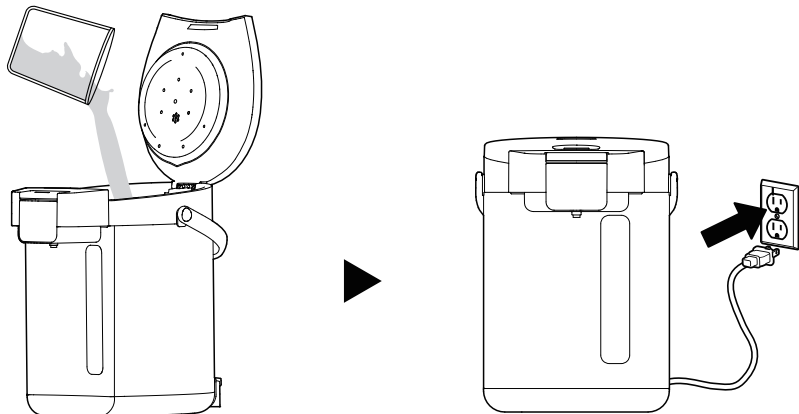
使用説明書

ご使用上の注意

- ・ 最初は水がスムーズに出ない場合がありますが、これは配管内の空気を排出する必要があるためであり、正常です。
- ・ 初めて使用する前、または長期間使用しなかった後は、内釜に1～2リットルの水を入れて沸騰させ、内釜を清掃してください。この時に沸騰させた湯を飲まないでください！
- ・ 本製品は海拔 3000 メートル以下での使用に適しています。
- ・ 給水時にサーモポットを濡らさないよう注意してください。
- ・ 湯沸かし中または湯沸かし後に保温設定を行うことができます。
- ・ 空焚き防止：サーモポットの水量が給水目盛りより少ない場合、または電源を入れたときに水が入っていない場合は、空焚きによる故障を防ぐため速やかに水を入れてください。
- ・ 電源コードが抜いてあると、給水できません。[解除ロック]を押してから、[給湯]を押して給湯してください。
- ・ 保温中に、96 時間以内にどのボタンも押さなかった場合、本機はスタンバイモードになります。

給水と電源の入れ方

- 1 電動お湯ポットに浄水を入れます（最大水位線より上まで水を入れないでください）、ふたを閉じ、電源を入れたと、電気ポットは水温に基づいて加熱/保温モードに切り替わります。



沸騰後の保温

- 1 スタンバイモードで[温度]を押し続けると、[70℃]、[80℃]、[90℃]、[98℃]、[キャンセル]の順に切り替わります。温度を選択し、もう一度[再沸騰/エコ]を押します。塩素を除去するために水が沸騰し、保温前に選択した温度まで自然冷却されます。保温中に96時間操作しなかった場合、サーモポットは保温を停止し、スタンバイモードに入る。

70 80 90 98

温度選択



ECO

再沸とう
ECO

直接保温



注意

直接保温では、選択した保温温度までしか加熱されず、沸騰させることはできません。純水やろ過水などの直接飲用可能な水を使用してください。

- 1 スタンバイモードで[温度]を押し続けると、[70℃]、[80℃]、[90℃]、[98℃]、[キャンセル]の順に切り替わります。温度を選択すると、選択した温度まで水が加熱され、その温度を保持します。保温中に96時間操作しなかった場合、サーモポットは保温を停止し、スタンバイモードに入る。

70 80 90 98

温度選択

省エネ・保温

1. 省エネ

保温をオンにし、温度を設定する([80℃]、[90℃]、[98℃])時、を約2秒間長く押して、ECOランプが点灯し、省エネモードをオンにする。

ECO

再沸とう
ECO

長押し約2秒

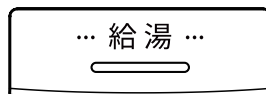
- ・省エネ状態になると設定温度が[70℃]に調整されるので、設定温度が[70℃]の場合、省エネモードのオンは許可されません。
- ・省エネモードでは、保温をオフにしたり保温を終了すると、ECOランプは保温ランプとともに消灯するが、省エネモードはオフにしておらず、保温を再起動すると、ECOランプは保温ランプとともに点灯する。
- ・省エネモードでは、を約2秒間長く押して省エネモードをオフにし、設定温度を省エネ状態に戻る前の温度に調整する。

給湯

- 1** [解除]を押すと、水量表示ランプが点灯し、給湯口のロックが解除されます。
[解除]を押し続けて、湯量の大・小を切り替えます。



- 2** 給水量を選択した後、[給湯]を長押しすると、電気保温ポットの給湯口から湯が排出されます。

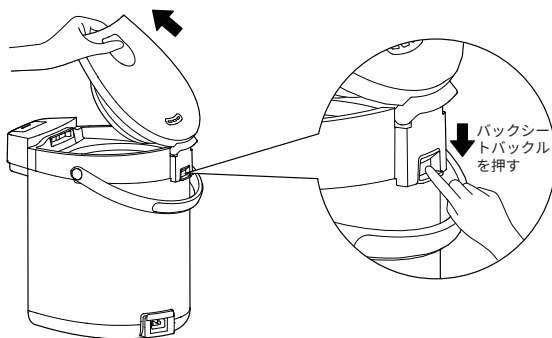


ロック解除プロンプト

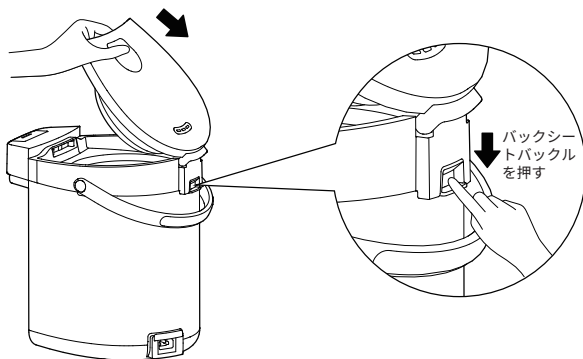
[解除]を押して本体のロックを解除しないと、[給湯]を押しても電気ポットから湯は出ません。大・小の給水ランプが同時に5回減して、解除するよう指示されます。

ふたの着脱

- 1** ふたの取り外し： ふたを開き、水平面に対して 20 ～ 30°の角度にふたを保持し、片手でふたを持ち、もう一方の手でバックシートバックルを押してふたを取り外します。

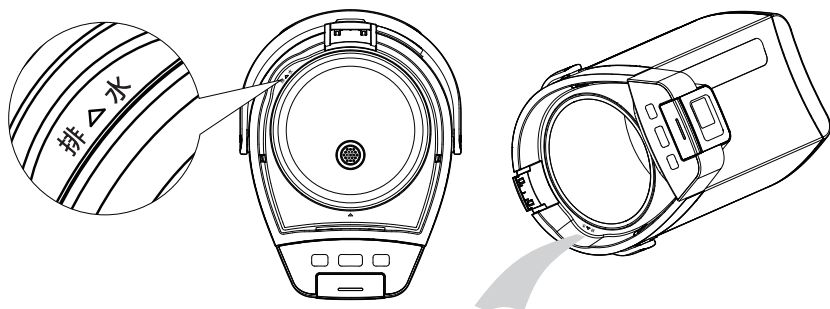


- 2** ふたの取り付け： 片手で背面のバックルを押しながら、もう一方の手でふたを連結軸に合わせて溝に差し込み、背面のバックルを離してふたを固定すると取り付けが完了します。



停電時の排水

キャップを取り外し、電源コードを外し、三角マークから排水してください。



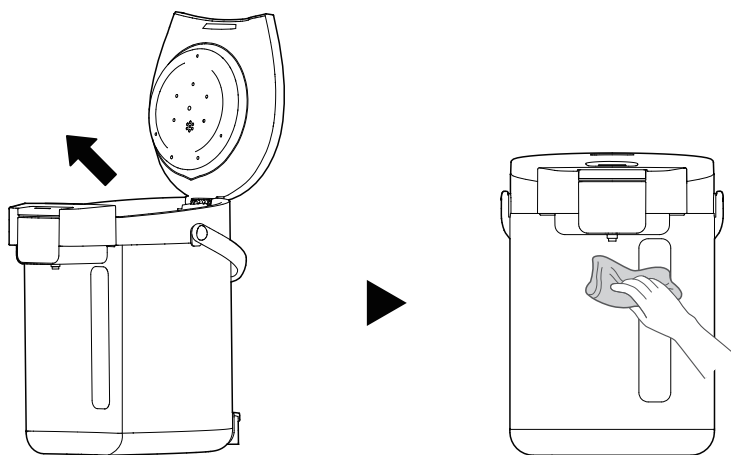
清掃とお手入れ

清掃とお手入れに関する注意

- ・ 清掃する前に、必ず電源プラグをコンセントから外し、サーモポットが冷めるまでお待ちください。
- ・ 電動お湯ポットの寿命を延ばすため、電動お湯ポット内にたまったミネラルの堆積物（湯垢）を定期的に除去し、湯垢除去剤（酢やクエン酸など）で洗浄してください。
- ・ 湯垢を除去して洗浄した後に、わずかににおいが残ることがあります。内釜に浄水を入れ、数回すすいで、残った湯垢除去剤のにおいを取り除いてください。
- ・ 電動お湯ポットの外側を水で洗い流してはなりません。洗浄の際にはスチールワールや化学薬品、研磨剤入りの粉末洗剤を使用しないでください。
- ・ 内釜の洗浄には、水を含ませたプラスチックのスポンジを使用してください。粉末洗剤、ストローブラシ、ナイロンブラシは使用しないでください。電動お湯ポットが変形・損傷するので、食器洗い機や乾燥機で加熱しないでください。

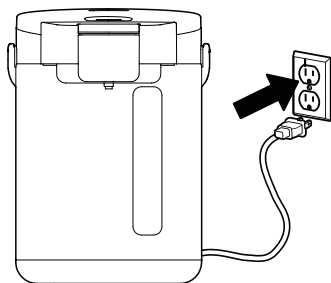
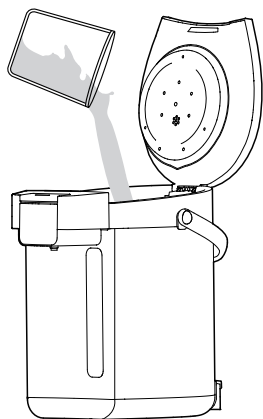
日常の清掃

- 1 電源プラグを抜き、電動お湯ポット内の水を排出してから、乾いたタオルで水滴を拭き取ってください。次回使用できるように、電動お湯ポットの外側を水気をよく絞った濡れタオルで拭いてください。

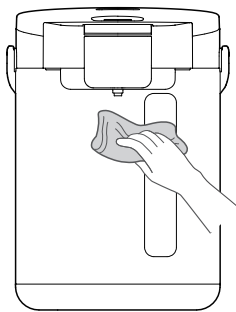
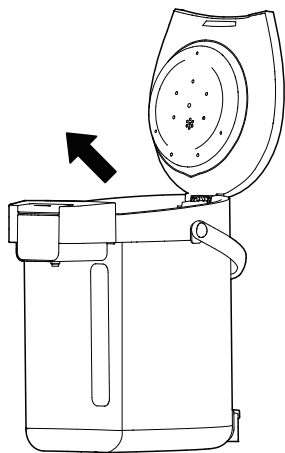


湯垢除去

- 1 電源を切り、電動お湯ポットに湯垢除去剤と水を入れます
- 2 電源を入れ、湯垢除去剤溶液を沸騰させます。



- 3 しばらく放置した後、湯垢除去剤溶液を捨てます。
- 4 内釜をきれいな水で洗い、清潔な柔らかい布で乾拭きしてください。



故障かな？と思ったら

故障の自己診断

故障	考えられる原因	対処方法
湯の中に白色または光沢のある浮遊物があります。	湯垢は、ミネラル分の多い水（ミネラルウォーターやイオン水浄水器で処理された水）で発生しやすく、内釜に付着したり、水中に浮遊します。	湯垢除去の手順に従って湯垢を除去してください。
湯に特有のにおいがします	水道水には消毒のため塩素が多量に含まれているため、塩素のにおいがします。	沸騰の際に自動的に水から塩素が除去されるため、塩素のにおいがなくなります。
	初めて使用する際にわずかに本製品からプラスチックのにおいがしますが、数回使用しているうちににおいが消えます。	これは正常です
給水不良	フィルターメッシュが湯垢で詰まっています。	クエン酸を加えて沸騰させ、洗浄してください。ブラシでメッシュを掃除し、詰まりを取り除いてください。
	一定時間沸騰した後、発生した気泡がポンプ内に入り、熱湯が出にくくなることがあります。	まずふたを開き、泡が出なくなるまで約1分間放置してから湯を出してください。
湯が出ません	電動お湯ポットがロックされています	[ロック解除]を押し、給湯量を選択してから、[給湯]を押し続けて給湯してください。
電動お湯ポットから水が勝手に流れ出てきます	電動お湯ポットの水量が最大水位を超えています。	水量がサーモポットの最大水位を超えないよう減らしてください
ポットの外側が熱くなります。	サーモポットは高温で保温しているため、室温が高い場合、ポットの外側が60℃に達することがあります。	これは正常です
湯が沸騰しない、または長時間沸騰する	ポットが故障しています	アフターサービスセンターに送付して検査を依頼してください
	電動お湯ポット内部の湯垢が厚すぎます。	湯垢を除去します
ディスプレイに「E1」と表示されます。	センサーが断線しています	電源を切り、もう一度電源を入れてください。それでも異常が出る場合は、アフターサービスセンターに送付して修理を依頼してください。
表示に「E2」と表示されます	センサーが短絡しています	
表示に「C1」と表示されます	水量が低すぎるか、ケトルの温度が高すぎる後、再び電源をオンにします	水を加えるか、ケトルが冷却するのを待つ

保証書

持込修理

品番	CKW-50PK07C1/CKW-50PW07C1		
保証期間	本体	お買い上げ年月日	年 月 日より1年間
お客様	お名前 ご住所	様 電話 () 〒	
販売店	店名 住所	電話 () (印)	

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品等で修理依頼ができない場合には、下記に記載の連絡先までご相談ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - (ロ)お買い上げ後の転倒、使用場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ)火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - (ニ)一般家庭用以外（業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ)本書のご提示がない場合。
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

本書に記載の内容とは異なる方法や目的で使用されますと、保証の対象外となります。
また、生じた損害についても弊社は一切責任を負いません。

商品の修理サービスについてのご相談

- 修理、お取り扱いなどのご相談は、まずは、お買上の販売店にお申し付けください。
- 転店や贈答品などで困りの場合は、弊社のサービスセンターへお問合せください。

お電話でのお問合せ

日本美的サービスセンター

受付時間：午前10時～12時・午後1時～6時



0120-547-032 (無料)

・PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

・土日・祝日、年末年始、お盆期間は休業とさせていただきます。

Eメールでのお問合せ

cs_jp@feelcomfee.com

お問合せの際は、商品名・品番・ご相談内容・お名前・電話番号をご記入ください。

販売元：日本美的株式会社

大阪府大阪市港区弁天1-2-1大阪ベイタワー10F

comfee'
... is how i feel !